

小規模企業景気動向調査

[2021年2月期調査]

～前月の悪化から一転、全業種で改善した小規模企業景況～

2021年3月29日
全国商工会連合会

＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2021年2月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

＜産業全体＞ ◇…前月の悪化から一転、全業種で改善した小規模企業景況…◇

2月期の小規模企業の景況DIは、緊急事態宣言等の影響により大幅悪化となった前月から一転、産業全体及び主要4業種の全DIが改善となった。緊急事態宣言下ということもあり、巣ごもり需要を捉え、生活必需品や食料品関連の売り上げは好調である。一方、外出自粛要請や飲食店への営業時短要請等により、経済活動が停滞しており、サービス業を中心として、依然厳しい状況が続いている。経営指導員からは、コロナ禍の長期化により、業種・事業者間の格差が顕著となっているとのコメントが目立った。

＜製造業＞ ◇…一部で回復の動きがあるものの、厳しい状況が続く製造業…◇

製造業の業況DIは5pt近く改善し、売上額・資金繰りDIは大幅な改善となった。食料品関連は、緊急事態宣言下で内食向けが好調を維持しているものの、宿泊・飲食業向けは、取引先の時短営業や休業により、厳しい状況である。機械・金属関連は、医療衛生分野や自動車関連の売上増等により好調であり、12月の水準を上回ったが、一方で国内外の需要停滞や生産調整が続いており、厳しい状況との声も多く見られた。繊維関連は、緊急事態宣言による落ちこみこそ小幅だが、巣ごもりによる需要の低迷や展示会の中止等販路開拓手段の制限により、苦況が続いている。

＜建設業＞ ◇…公需・民需ともに回復基調も、今後不安が残る建設業…◇

建設業の業況DIは5pt近く改善し、昨年2月期の水準に迫るまで回復してきた。一部地域では、公共工事が堅調であり、また、降雪による除雪需要や災害復旧工事の需要で好調を維持している。また、民需の住宅関連でも、修繕工事やリフォーム工事等の受注が好調である。しかし、今後の受注見込みが減少傾向にあることや、人手不足や資材不足等により、先行きを不安視する声が目立った。

＜小売業＞ ◇…地域や業種で差はあるものの、大幅な回復となった小売業…◇

小売業の業況DIは10pt超える改善となり、水準も昨年2月を大幅に上回った。食料品関連は、内食向けが好調であり、また、一部で、ネット販売が好調な事業者がいるとの報告があった。衣料品関連は、卒業・入学・入社シーズンが続くことから売上が好調との声もあり、業況が大幅に回復したものの、外出自粛要請等により依然厳しいという声も多かった。耐久消費材関連は、引き続きウイルス対策関連商品に加え、自動車販売業も好調との声があった。業種や地域で差はあるものの、全般的に回復傾向を示すコメントが目立った。

＜サービス業＞ ◇…緊急事態宣言の影響により、引き続き厳しい状況のサービス業…◇

サービス業の全DIは、大幅に改善し、4カ月ぶりに改善に転じたものの、水準は再度の緊急事態宣言前の12月期を脱していない。理美容業は、感染症対策が行き届いているため、客足は戻りつつあるとのコメントがあり、回復傾向にある。宿泊業は、GoToキャンペーンの停止や緊急事態宣言の継続により、予約のキャンセルが相次ぎ、休業状態の事業者もあり、引き続き最悪期の水準にとどまっている。飲食業についても、来店者数の少ない状況は続いており、洗濯業においても、宿泊業からの受注減等により厳しい状況であるとの声が多かった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 53.8	▲ 46.0	7.8	▲ 59.5	▲ 53.5	6.0	▲ 29.9	▲ 21.9	8.0
採算	▲ 50.4	▲ 45.3	5.1	▲ 56.2	▲ 51.6	4.6	▲ 29.7	▲ 25.4	4.3
資金繰り	▲ 49.5	▲ 42.4	7.1	▲ 54.6	▲ 47.2	7.4	▲ 30.8	▲ 23.0	7.8
業況	▲ 55.1	▲ 48.3	6.8	▲ 62.2	▲ 57.3	4.9	▲ 31.5	▲ 26.7	4.8

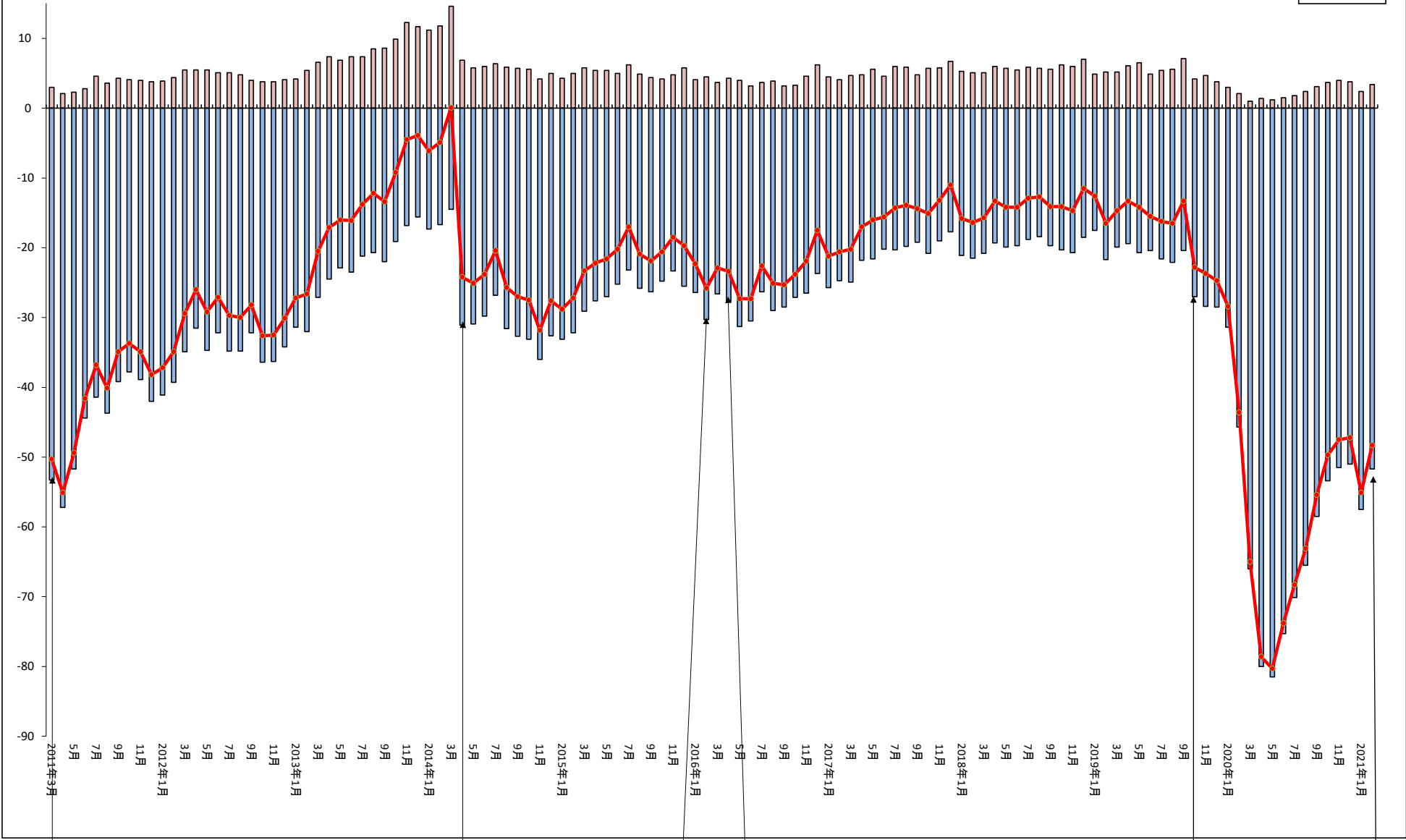
業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 49.6	▲ 40.6	9.0	▲ 76.0	▲ 68.2	7.8
採算	▲ 48.5	▲ 42.0	6.5	▲ 67.3	▲ 62.1	5.2
資金繰り	▲ 47.2	▲ 41.0	6.2	▲ 65.1	▲ 58.5	6.6
業況	▲ 54.1	▲ 44.0	10.1	▲ 72.6	▲ 65.2	7.4

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



11年3月
東日本大震災
(-50.3)

14年4月
消費税率8%
に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

16年4月
熊本地震

19年10月
消費税率
10%引上げ

21年2月
(-48.3)

小規模企業景気動向調査(2月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・コロナ禍でも各業界感染症対策などをして、客数が戻りつつある。景気も下げ止まっている業界が多い。

(城山商工会)

・観光客をターゲットにした業種については比較的ネガティブな状況となっている。その他については、少しずつ元の状況に戻りつつある。

(静岡市清水商工会 由比支所)

・一般的にコロナの影響が落ち着いてきているように感じる。製造、建設、小売は先行きの不透明感が減少し、今後従来の売上まで回復させていくと思われる。しかしながら外出制限の影響を受ける飲食店やイベント業などは依然として見通しが立てづらく他業種の回復の恩恵を受けるのが一番最後になると思われる。こうした事業所には融資の返済据え置き等の措置が期限を迎え始める春先以降に継続的な支援を行い事業継続を支えていく必要があると思われる。

(宇美町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・飲食店は閑散期と新型コロナウイルスの影響が重なり厳しい状況である。感染者数の低下傾向とワクチン接種による終息への期待感があるものの春の観光需要も厳しい予測であり、地域の宴会需要も回復しないものと思われ厳しい状況が続く。

(みやぎ北上商工会)

・業種による格差が拡大。宿泊や飲食は”悪”という風潮が広まり、コロナ収束後も影響を受けると予想される。

(尾花沢市商工会)

・緊急事態宣言の発令を受け、増加する業種と低下する業種との差が顕著になっている。コロナ収束後もこの傾向はしばらく続くものと思われるので、低下している業種に関しては、業態変換等を促す必要性を強く感じます。

(香取市商工会)

・コロナの影響が業界によって2極化している。消費者もコロナ疲れや消費意欲は低いままである。コロナワクチンによる感染防止対策や景気浮揚のためのオリンピック開催などもまだまだ先行き不透明であり、景気に対する警戒感が強い。景気の底を打った感があるが、首都圏の緊急事態宣言解除後の感染者数の増加などによってどうなるかわからない。

(富山市南商工会 婦中支部センター)

・サービス業全般において緊急事態宣言の延長の影響が大きく出ている。緊急事態宣言の期間が延長されると大幅に計画の変更が求められるため更に厳しい状態となる。

(伊豆の国市商工会)

・飲食店や宿泊業でほとんどの事業所で緊急事態宣言延長により時短対応または休業をしており売上を大きく落とした。業務用需要の減少により関連事業者への影響も大きくなっている。

(新温泉町商工会)

・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況が続いており、先行きの不安感が増しており、景気に悪影響を及ぼしている。

(東温市商工会)

・県の緊急事態宣言より飲食業は時短営業であったが、給付金により救われた事業者は多い、また、全体的に廃業は少なかった

(名護市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・機械金属製造業は取扱製品により大差がある。陳列棚等を取り扱う製造業者は受注が大幅増。

(伊豆の国市商工会)

・各産業とも前年比では売上を落としているがコロナによる影響は底打ち感がある。依然として川下が一般消費者である食料品、繊維産業については完全に外出制限がなくなつてからの回復となると思われる。しかしながら、悪材料は出し切っているの以前のような先行きの不透明感は減少しているように思われる。製造業については受注が減少しているものの利益計上できるだけの受注はあるため今後の回復が期待できる。

(宇美町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・食料品製造…例年この時期はイベント等も殆どなく、売上は減少。一方でweb・店頭販売が共に好調で売上に貢献。生産性向上を目的とした工場増設を計画し、同時に設備投資(省力化)も検討。繊維工業…コロナ特需によって受注量が安定しているが、注文単価が安く採算は良いとは言えない状況。機械・金属…今までストップしていた受注・納品が通常稼働へ。極細線の受注が特に多いことから、医療分野が活発になっていると想定され、今後はこれら関連部品製造業が好況になると思われる。一方で、生産設備用部品製造では瞬間的には前年以上だが、この先の情報は少なく安定していない。取引先を通じてメーカー動向を確認しているが、不透明との回答。

(由利本荘市商工会)

・衛生関連の部品製造を請け負っている事業者はコロナウイルスの影響による需要増加により売上がやや増加している。

(旭市商工会)

・食料品製造業はコロナ再拡大に伴う影響に加え、記録的な大雪による来客数の減少や流通停滞などが影響し景況悪化。機械金属については、自動車部品製造関連に持ち直しがみられ、それに伴う生産設備需要が期待される。

(小矢部市商工会 津沢支所)

・織布業では年明けに東京で開催されるアパレル関連の新作展示会がコロナで中止のため、新たな生地製造受注がない。

(浅羽町商工会)

・食料品製造業では、主に惣菜や加工品の需要が堅調。繊維工業は、緊急事態宣言による外出自粛の影響等を受けて、衣料品の消費低迷等の内需の低迷、機械金属製造業においても自動車関連や半導体等を中心に若干回復基調にあるものの、材料不足等の影響による減産体制からの回復は依然続いており厳しい状況である。

(瀬田商工会)

・業種によって大きく異なるが、金属関連の製造業は、外国の影響などを大きく受けて、まだまだコロナの影響で生産が低下している。

(丹波市商工会)

・製造業全体は厳しい状況にあるものの多少改善してきた模様。食料品製造業は大きな変動はないが、繊維工業はコロナ禍における新たな需要拡大により堅調を維持している。機械金属製造業は輸出関連の動きが弱いため見通しが見えない状況となっている。

(作州津山商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・外出自粛要請を受け、自宅で過ごす時間が増加しているため、リフォームや増改築のニーズが増加している。

(香取市商工会)

・修繕や小規模工事も好調で、総合建築も公共工事受注で比較的好調である

(日野市商工会)

・引き続き台風復興関連の土木工事、公共工事などの受注が多く繁忙。

(佐久市望月商工会)

・西日本災害後の受注が切れず好調。

(吉田三間商工会)

・年度末に向けて公共工事が多く、売上高については増加傾向である。コロナによる工事ストップ・延長が再開されたことも大きい。

(佐土原町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・住宅の小規模修繕工事は多いものの、住宅着工率はコロナ感染症拡大前の水準には戻っておらず、売上はやや減少。採算・資金繰り・業界の業況はやや悪化している状況が続いている。

(狛江市商工会)

・リフォーム需要に雪害風害被害が加わり、建築業者は受注額は少額ながら、受注件数は多い。

(寺泊町商工会)

・以前のように受注がキャンセルになるなどの事態は減少したように思われる。しかし、依然として厳しい状況が続くことは予想される。コロナのこともあり、いつどうなるか分からないという意識が消費者に芽生えたこともあり、大きな費用の掛かる建築工事には慎重になっている傾向があるとのこと。

(八百津町商工会)

・公共事業等が昨年度より落ち込み気味で、資材不足による仕入単価の上昇、人材不足の影響により、経営環境は低迷基調である。

(瀬田商工会)

・緊急事態宣言等の影響により、営業活動に支障が生じており、今後の資金繰りの悪化等が予想される。

(福津市商工会)

4. 小売業

＜改善傾向を示すコメント＞

・耐久消費財小売業関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症対策としての空気清浄機や加湿器需要増加のため、昨年同期に比較して売上は伸びている。

(上川町商工会)

・家電販売関連の事業者は、コロナ対策のための空気清浄機やテレビ等の家電の売り上げが伸びている。

(中之条町商工会)

・夜の外食が減少しており、食料品小売の事業所については売上増加傾向にあるところもある。

(武豊町商工会)

・衣料品販売は、特に変化なし。食料品販売については、若干ではあるが前年度より売上が改善されている。

(枝幸町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・衣料品は、新入学の季節となり制服等の売上が堅調。ただし、少子化により年々売上が減少している。小売りはコンビニは堅調。その他商店等は、常に前年割れが続いており人口減が＝売上減の構図に変化無し。

(小平町商工会)

・衣料品小売…学生衣料の売上があることから2～3月は売上・仕入共に増加している一方で、婦人衣料に関しては相変わらず厳しい状況。外出減少による購入者が減少。食料品小売…コロナの影響から町内行事等が中止、また大雪の影響で客の出入りは悪かった。売上を上げるために何をしていたか分からない。耐久消費財…例年この時期多くなるエアコン等のメンテナンス・修理需要が先食いされた感があり、2月は売上が減少。シーズントータルでは前年から微増というところ。今後の見通しとしては新年度到来に伴う買替時期だが、コロナの影響で官民共に需要がどこまで伸びるか先行きが不安。

(由利本荘市商工会)

・衣料品小売業に関しては、先月に引き続き緊急事態宣言に伴い、外出を控える傾向が続いており、低調に推移している。

(栄町商工会)

・衣料品：ネット売上順調だが店売りは依然落ち込んだまま。食料品：野菜類の仕入単価が下がっているため採算は取れている。耐久消費材：3月は車両販売が期待できる。

(都留市商工会)

・衣料品関連の小売業は、外出自粛の影響により、店舗での販売は不調傾向にある。食料品関連の小売業は、スーパーやコンビニ等の小売店はコロナウイルスによる影響は感じられない。土産物店等、観光に紐づく小売については前月から継続して厳しい展開。耐久消費財関連の小売業は、自動車販売の好転継続も全般的に景況感が悪く、盛り上がり欠ける状況。

(中部商工会産業支援センター)

・食料品小売は外出自粛により来店客数が伸び悩み、インターネットや宅配に需要を奪われている。地域の自動車市場も例年並みに回復しており、昨年の緊急事態宣言前と同等水準へ回復した。

(作州津山商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・緊急事態宣言が継続されこれまで遠く的美容院等を利用していた方が近隣の店舗に足を運ぶことが増えてきている

(日野市商工会)

・悪い時と比べてやや回復基調にあると感じられる。

(武豊町商工会)

・理美容業は、コロナ感染防止のため予約制にしたうえで、かつ十分にサービス時間の間を空けて消毒を充分に行う等、対策を行い売上回復に努めている。

(福智町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・旅館…GOTO停止再延長の影響で宿泊予約が伸びず、週末を除き宿泊客や日帰り利用者減少。県宿泊券の使用期限が迫ったことで個人宿泊の駆け込み需要があり、一時的に持ち直した。一方で宴会は卒業式・送別会関連で例年見込んでいる需要は今年も大幅減少の見込み。洗濯…売上変動が少ない時期ではあるが、冠婚葬祭や地域行事の中止により、売上減少が続いている。業界全体でみても大変厳しいと感じる。理・美容…閑散期であるが、下旬から卒業シーズンに向けた準備等で利用者は増加。また、コロナ禍による巣籠のリフレッシュ需要で来店サイクルが短縮化している顧客や新規顧客の利用も目立つ。

(由利本荘市商工会)

・旅館関連の事業者は、冬の稼ぎ時である全国規模のスキー大会である冬季国体とインカレのW開催でのお客さんの宿泊を期待していたが、県や国体委員会の協議の末、どちらも開催中止となったため、鹿角地域及び近隣市のホテルではスキー関連の宿泊客は全てキャンセルとなり、売上が昨年度以上に減少するという壊滅的な状況となった。これに伴い、洗濯関連の事業者も、宿泊施設からの仕事がなくなった。理・美容関連の事業者は、歳祝(厄払い)の着付けの注文もあったが、帰省する方がおらず、例年より件数は少なかった。

(かづの商工会)

・緊急事態宣言により観光客の流入が減少。旅館は営業日を縮小している状況。飲食業も変わらず、大きな会食がまったくない状況。

(尾花沢市商工会)

・美容院、クリーニング業界は昨年は式典などほとんど中止となってしまう、ひどい業績悪化に見舞われた。今年も中止になるイベントや式典が多いが感染症対策を徹底しての開催などにより、昨年ほどひどくはない。

(城山商工会)

・理容業については、店舗での感染症対策が進み、顧客の来店数や売上については元に戻っている状況になっている。

(静岡市清水商工会 由比支所)

・旅館はGoToキャンペーンの停止に伴い、一気に予約のキャンセルが増え、新たな予約もかなり少ない状況である。現状は、昨年のコロナ資金の借入金及び秋頃の回復分でなんとかやりくりしている状況だが、今後の資金繰りを懸念される事業所が増えてきた。GoToトラベルの再開を望む事業所も多い。

(唐津上場商工会 経営支援センター)